

藝園草牧

昭和二十八年五月十五日第三種郵便物認
昭和四十三年二月一日(毎月一回)日發行

雪印種苗株式会社



日本の草地 ★ ヨーロッパの草地

雪印種苗株式会社 上野幌育種場長 三浦梧楼

私が一昨年夏、ヨーロッパ酪農先進諸国を短見して、ます驚いたことは、どの国も草地を大切に使って多年的、永年に利用し続けていたことです。

ヨーロッパは土壤条件がアルカリであり、酸性土壤が大半を占める日本とは異なることも事実ですが写真のようなりっぱな草地が随所で見られました。

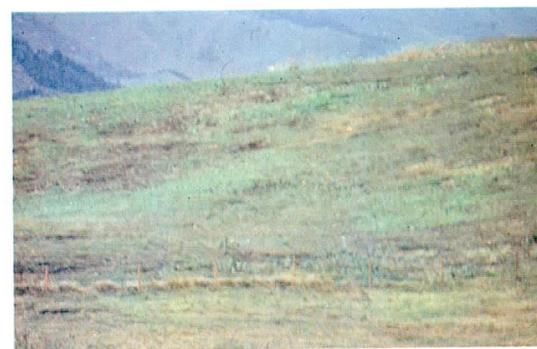
— 日本の草地荒廃は早い —



①造成当初の草地。



②利用 1 ~ 2 年目の状況。



③利用 3 ~ 4 年目で早くも荒廃し始めている。



④スイスの草地はヤウヘ（液肥）施用と放牧型草種で永続性が高い。



⑤オランダは草地また草地。草地の果ては地平線、そしてその草地は殆どが永年又は多年草地である。



⑥フランス・シャロレー地帯の草地（永年草地）と、肉牛種シャロレーの群。